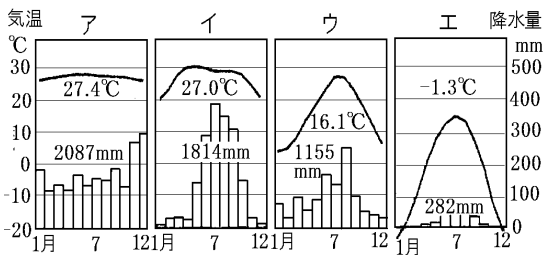
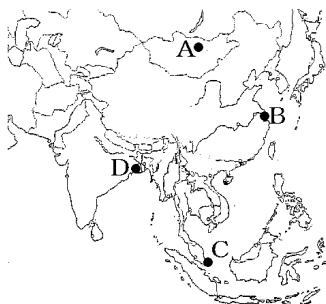


【FdData 中間期末：中学社会地理：アジア】

【気候：雨温図】

【問題】(2 学期中間)

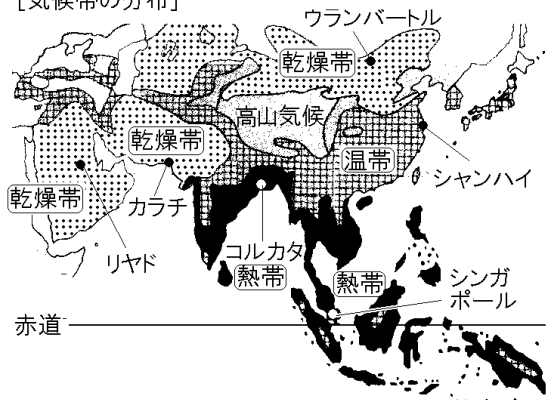
地図中の A～D の都市の雨温図をア～エから 1 つずつ選び，記号で答えよ。



[解答]A エ B ウ C ア D イ

[解説]

[気候帯の分布]



[雨温図の判断]

・まず, 乾燥帯, 寒帯かどうかを判断

{ 乾燥帯: 降水量が少ない
寒帯: 最暖月 10°C 未滿



・熱帯, 温帯, 冷帯は最寒月に注目

{ 熱帯: 最寒月 18°C 以上
温帯: 最寒月 $-3^{\circ}\text{C} \sim 18^{\circ}\text{C}$
冷帯: 最寒月 -3°C 未滿

(ケッペンの区分法による)

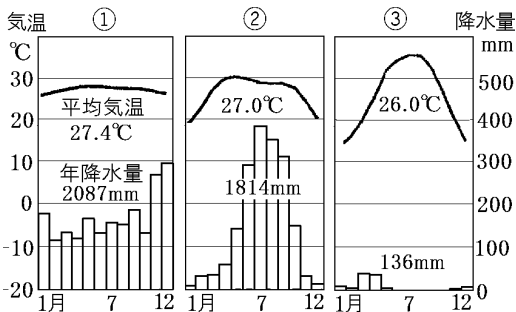
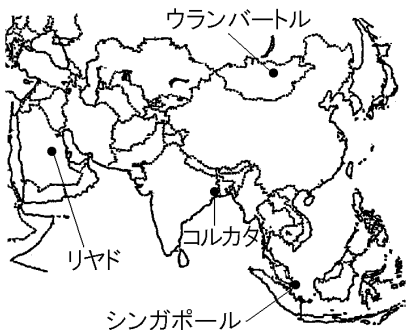
赤道はシンガポール付近を通っている。赤道周辺は年間を通して気温が高い^{ねったい}熱帯の気候である。とくに、シンガポール(C)のように赤道直下にあるところでは1年じゅう雨が多い^{ねったいうりん}熱帯雨林気候になる。インドのコルカタ(D)も熱帯であるが、^{うき}雨季と^{かんき}乾季のあるサバナ気候になっている。西アジア(リヤド、カラチ)、中央アジア(ウランバートル(A))は^{かんそうたい}乾燥帯になっている。日本や中国(シャンハイ(B))などの東アジアは^{おんたい}温帯になっているところが多い。

次にア～エの^{うおんず}雨温図がどの気候帯を示しているか考えよう。

エは年間降水量が極端に少ないことから乾燥帯で、Aのウランバートルのものだとわかる。アとイは最寒月の気温が 18°C 以上なので熱帯と判断できる。その中のアは年中雨が多いので赤道直下の熱帯雨林気候で、Cのシンガポールの雨温図であると判断できる。イは雨の降る時期(雨季)と雨の少ない時期(乾季)があるので、熱帯のサバナ気候で、Dのコルカタの雨温図と判断できる。雨温図ウは最寒月の気温が $-3^{\circ}\text{C}\sim 18^{\circ}\text{C}$ の間に入っているので温帯で、Bのシャンハイのものだとわかる。

[問題](2 学期期末)

下のグラフの①～③は、地図中のいずれかの都市の気温と降水量を示している。それぞれあてはまる都市名を書け。



[解答]① シンガポール ② コルカタ

③ リヤド

[解説]

①は熱帯雨林気候でシンガポールの雨温図、②は熱帯のサバナ気候でコルカタの雨温図である。③は降水量が極端に少ないことから乾燥帯の雨温図である。リヤドとウランバートルはいずれも乾燥帯に属するが、気温が高いことから、③はリヤドのものであると判断できる。

◆社会地理の各ファイルへのリンク

<http://www.fdtype.com/dp/sc2/index.html>

◆FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

http://www.fdtype.com/dp/qanda_k.html

◆製品版(パソコン Word 文書：印刷・編集用)
の価格・購入方法

<http://www.fdtype.com/dp/seihin.html>

※ iPhone でリンク先が開かない場合は、
「iBooks」を開いてリンクをタップください。

【Fd 教材開発】 Mail : info2@fdtype.com